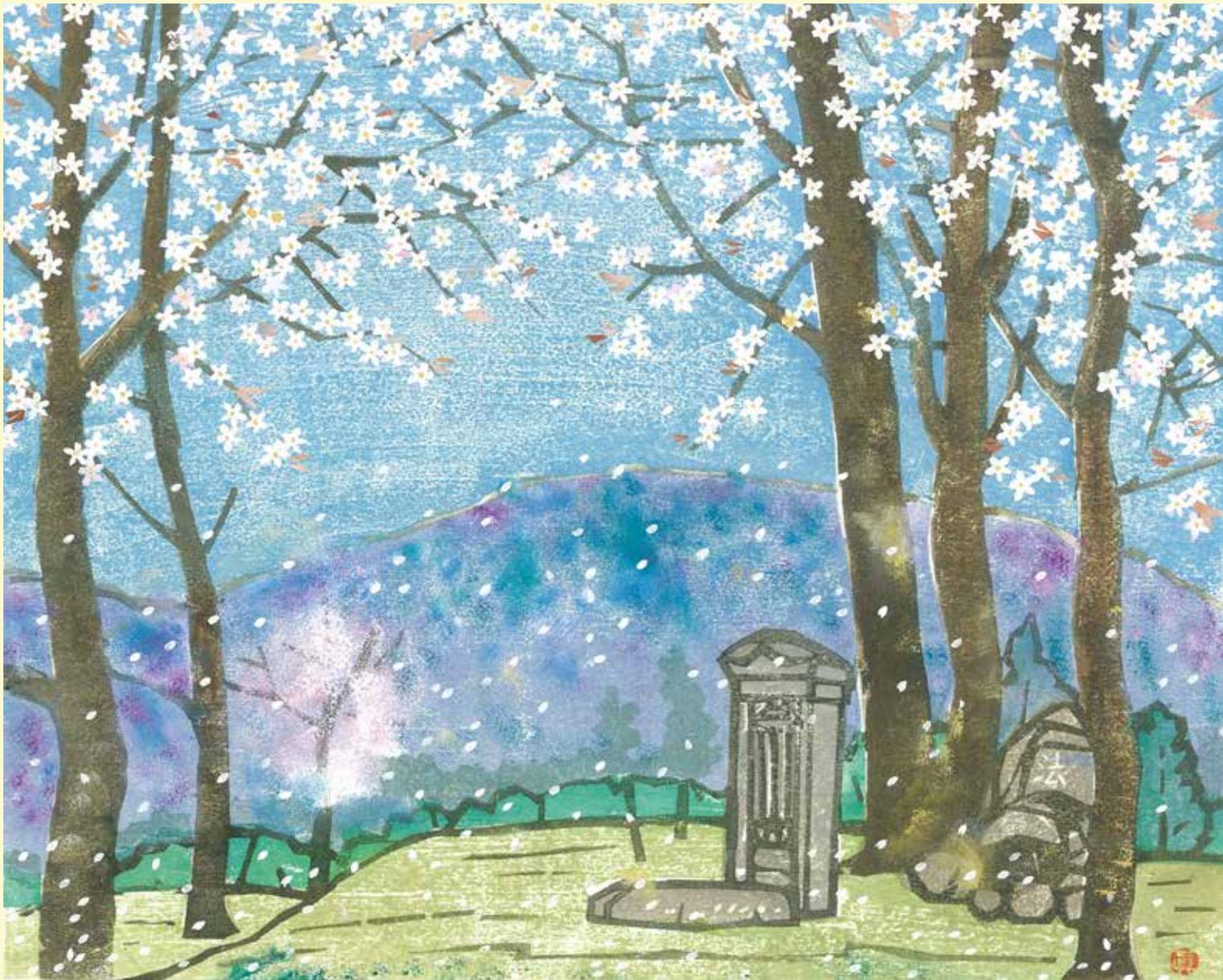


議会だより

平成26年 1月臨時会・2月定例会版



花ふぶき（一丁^{ちやう}坊古墳）

©河合眞作さんの版画シリーズ②

主な内容

1月臨時市議会・2月定例市議会	2～3ページ
2月定例市議会・一般質問	4～11ページ
委員会活動報告	12～13ページ
官製談合再発防止調査特別委員会	14～15ページ
第5回議会報告会を開催	16ページ

平成26年1月臨時市議会 付議事件採決一覧表

番号	付議事件	結果
議案乙第1号	官製談合再発防止調査特別委員会設置に関する決議について	原案可決

平成26年2月定例会市議会 付議事件採決一覧表

番号	付議事件	結果
報告第1号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について	報告を受けた
議案第1号	平成25年度総社市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第2号	平成25年度総社市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第3号	平成25年度総社市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第4号	平成25年度総社市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第5号	平成25年度総社市公共下水道事業費特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第6号	平成25年度総社市国民宿舎事業費特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第7号	平成25年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第8号	平成25年度総社市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第9号	モーターボート競走の施行について	原案可決
議案第10号	総社市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	総社市社会教育委員条例の一部改正について	原案可決
議案第12号	総社市自転車駐車場指定管理者の指定について	原案可決
議案第13号	財産の取得について	原案可決
議案第14号	総社市一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧手続等に関する条例の制定について	原案可決
議案第15号	井原鉄道株式会社が所有し、又は使用する固定資産に対する課税免除に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	総社市水道事業、簡易水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	総社市道路占用料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第18号	総社市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	原案可決
議案第19号	総社市手数料条例の一部改正について	原案可決
議案第20号	総社市火災予防条例の一部改正について	原案可決
議案第21号	平成26年度総社市一般会計予算	原案可決
議案第22号	平成26年度総社市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第23号	平成26年度総社市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第24号	平成26年度総社市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第25号	平成26年度総社市農業集落排水事業費特別会計予算	原案可決
議案第26号	平成26年度総社市公共下水道事業費特別会計予算	原案可決
議案第27号	平成26年度総社市国民宿舎事業費特別会計予算	原案可決
議案第28号	平成26年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計予算	原案可決
議案第29号	平成26年度総社市水道事業会計予算	原案可決
議案第30号	平成26年度総社市工業用水道事業会計予算	原案可決
議案第31号	市道の路線認定について	原案可決
議案第32号	市道の路線変更について	原案可決
議案第33号	市道の路線廃止について	原案可決
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第5号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	同意
同意第6号	教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて	同意
議案乙第2号	片岡聡一総社市長に対する問責決議について	原案可決
議案第34号	総社市長及び副市長の給料月額の特例に関する条例の制定について	原案可決
請願第1号	榎谷畑ヶ野地区上水道敷設に関する請願書	採択
陳情第1号	総社市不正入札事件に関する陳情書	採択
平成25年請願第7号	子どもの医療費無料化の拡大を求める請願	不採択

賛否の分かれた議案等に対する賛否状況 【凡例】○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席

議案等	議員名	菅野哲也	三宅啓介	岡崎亨一	深見昌宏	小川進一	高谷幸男	小西義己	難波正吾	小西利一	津神諫太郎	村木理英	頓宮美津子	赤澤康宏	片岡茂夫	塩見禎章	名木田正昭	加藤保博	笠原武士	根馬和子	荒木勝美	山口久子	大熊公平	西森頼夫	議決結果	
議案第9号	モーターボート競走の施行について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第21号	平成26年度総社市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
平成25年度請願第7号	子どもの医療費無料化の拡大を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択	
議案第34号	総社市長及び副市長の給料月額の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	原案可決

・ 賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 ・ 剣持堅吾議員は、議長のため採決には加わりません。

1月臨時市議会

「市長問責決議」及び「市長並びに副市長の給料減額特例条例」を可決
一般会計
当初予算
275億円(8.8%増)も

官製談合防止法違反事件を受けて市議会として再発防止策を調査していく必要から、官製談合再発防止調査特別委員会を設置することを全会一致で可決しました。(調査内容の詳細は14ページに掲載)

2月定例会市議会

2月定例会市議会を、2月28日から3月20日までの21日間の会期で開きました。(審議結果は左ページのとおりに) また、請願2件、陳情1件の審査をしました。(下表のとおり) 官製談合防止法違反事件に伴い、市長の責任は重大との

見解に立ち、片岡市長に対する問責決議を市議会全会一致で可決しました。市長並びに副市長の給料月額の特例で、2割減額をそれぞれ半年と4か月とする条例を賛成多数で可決しました。総額275億円となった平成26年度一般会計当初予算は、前年度比8.8%増で過去最高となりました。主なものは15小学校区17地区中、8地区でスタートする地域づくり一括交付金に3190万円、防犯灯設置費補助に1500万円、学校一括交付金に4300万円、総社東・総社西中学校の教室エアコン工事に2460万円(前年度から繰越し)、

総社・昭和中学校のエアコン修繕料に2410万円、消防救急デジタル無線システム整備に5億9700万円、一般廃棄物最終処分場工事に13億1600万円、サンロード吉備路のきびじつるの里施設管理委託料に1900万円、同コンベンションホール外施設管理委託料に1000万円、そうじゃ吉備路マラソンに2100万円(前年度より300万増額)などです。 ○平成25年度各会計補正予算 事業費確定等によるもので、全会一致で可決されました。 ○条例の制定について 一般廃棄物最終処分場に係る生活環境影響調査結果の縦覧手続に関するもの、消防長及び消防署長の資格を定めるものなどです。 ○条例の一部改正について 市職員の退職手当、井原鉄道株式会社に対する固定資産課税免除、水道事業・簡易水

請願・陳情の審査結果

件名 (継続審査の理由、その他)	審査結果
榎谷畑ヶ野地区上水道敷設に関する請願書	採択
子どもの医療費無料化の拡大を求める請願 (対象年齢の引上げについては、財政的にかなり厳しい面があり、現在の制度を堅持していくべきと考えられるため。)	不採択
総社市不正入札事件に関する陳情書 (既に警察が捜査しており、公判中であるため。)	不採択

道事業・工業用水道事業の設置等と道路占有料徴収、市手数料、火災予防のそれぞれの条例を一部改正しようとするものです。 ○平成26年度特別会計予算・水道事業会計予算・工業用水道会計予算 全会一致で可決されました。(特別会計の内容は左ページ)



《難波正吾》

服部駅南の整備について

問 具体的な構想はどうなっているか。

答 東の拠点、玄関としてないがしろにできないが、財政上、優先順位があり具体的に至っていない。(市長)

子どもの医療費について

問 中学3年まで通院費無償化を求める二千筆を超える署名を添えて、子育て最中にあるお母さん等の市長への要請行動もあった。実施への展望はどうか。

答 皆さんの協力で25年度は前年度比で、1300万円程削減の見込みだ。現行制度は維持し、今後は「コンビニ受診」「ハシゴ受診」の表現は

使わない。拡充についてはもう少し状況をみたい。(市長)

教育行政について

問 全国的にいじめ問題は深刻さを増しており、不登校の小・中学生は平成10年からほぼ横ばいだ。本市の現状と今後の方策はどうか。

答 いじめは過去に不幸な事件があり、その教訓から認知件数は国、県より高いレベルにあるが、更により良い施策を行っていく。

4年前から「だれもが行きたくなる学校づくり」を目指して取り組んでいるが、成果は出ており、今後は幼稚園まで広げていく。(教育長)



整備が期待される服部駅



《西森頼夫》

工事契約の変更について

問 契約金額一千万円以上が平成24年度に42件あった。そのうち工事着工後に変更したものが25件もあり、変更率60%とあまりにも多いが理由は何か。

答 当初の見込みと異なる土質、あるいは地中埋設物の新たな確認に伴う工法変更の発生。地元からの工事に関する要望なども理由としてある。

問 入札に参加し、落札した業者と契約を締結する。契約したら変更しないのが原則と考える。

設計同意に基づいて業者は担当課に疑問点を問い、補足したり、修正したり合意したりしたのち入札を行う。その

後さらに変更があるのは不自然と思う。予期せぬことが発生する以外変更すべきではないと考えるがどうか。

答 変更の主な理由がガードマンの配置の増員や、地元の要望の受け入れなどで設計変更をしたものが多い。

問 これからは慎重に対応すべきだ。

答 工事費用の変動が生じる認識をした場合には、必要な費用を確保する義務が市にあるので、契約書、約款、法令に基づいて発注者と受注者が協議して、適正な理由があれば契約変更する。(以上市長)



設計変更のあった草田の橋



《赤澤康宏》

吉備路マラソンについて

問 前日受付を選手の気持ちを考えて、駐車場等を含め、場所の改善ができないか。

答 今回は、様々な事を想定し、手短かに受付が行われる様に多くの駐車スペースと受付場を改善する。(市長)

問 当日、選手には、駐車場からスタートラインに立てるまで、選手主体の配慮が必要ではないか。

答 昨年は今回の様な不備はなかった。今回の不手際を反省し、スタートの早い種目の方々には、会場の近くや、渋滞の起きにくい駐車場等を配慮する。(市長)

問 今までを参考に、そろそろ参加制限を含め、参加者が



フル・ハーフマラソンのスタート直後の様子

問 満足できる大会にできないか。

答 今回不備があったからといって、次回で人数制限をしたら、後退になる。人数制限は考えていない。何年もかけ、何回も失敗を繰り返し、手づくりの吉備路マラソンを築きあげたい。(市長)

消防団について

問 消防団員の減少や、今後起きるであろう東南海地震に備え、経験と知識の豊富な消防署OB職員で、この考えに同意してくれる方々の新たなポストを加え、団に係わる事はできないか。

答 消防団の現状と今後想定される災害等のために大変重要な考えだ。協力を呼びかける。(消防長)

下水道事業について

問 人口減少・高齢化・下水道施設の更新・財政状況等を鑑み、公共下水道計画の見直しを考へてはどうか。

答 県からの補助金や、見直し時期も含めて検討が必要である。(以下市長)

そうじゃ地食べオンラインショップについて

問 期待できる効果はどうか。これからの商品計画はどうか。

答 まだまだ、注文は少ないが、更なる商品計画(消防署員手作りの伝統カレー等)も含めて進めたい。

吉備路マラソンについて

職員やボランティアが全



《頓宮美津子》

力を挙げて運営に努めたが、ランネットの評価は低い。当日、スタートラインに立てなかった走者もいたことも踏まえ、人数にこだわらず内容の充実を考へるべき。コース等変更してはどうか。

答 今回の反省点は多数ある。これからは、人数にこだわらず中身でいい評価が得られるよう改善する。

教育行政について

問 自然の中での様々な体験学習は、子どもに豊かな人間性を育み、自ら考える力・生きる力を育み、更には学力向上にもつながると言える。総社の素晴らしい自然環境を活用して、長期休みを利用して体験学習に(維新小等)モデル事業として取り組んではどうか。

答 昭和小学校で実施している防災キャンプを通じ、効果はよく分かる。英語特区に加え、是非、進めたい。(教育長)



《荒木勝美》

私が考える街づくりの基本コンセプトは「多くの人がゆきかう、豊かで活力ある街づくり」である。この考え方をベースに質問する。

問 産業振興について「豊かで活力ある街づくり」のために一次・二次・三次・六次産業について基本的な施策と将来像、特に、六次産業についての将来展望を問う。

答 若年営農者が育ちつつある。六次産業については公社の赤字解消後検討する。

(市長)

問 企業誘致について①「再生農地等交換制度」の今までの経緯と今後の見通しについて ②県においても重点施策の一つとして企業誘致を考えている。とりわけ県

南内陸部への進出要望が多いと聞く。本市と同じ方向を向いている様に思われるが県との連携について ③市長会における対応は、同じ悩み、同じ思いをもつ自治体もたくさんあると聞く。 県市長会、全国市長会との連携を密にして進めるべきと思うがどうか。

答 ①農水省のハードルが高く苦戦しているが、今後も粘り強く要望する。更に特区申請を行革担当大臣に要望したところである。②③県・市長会との連携について、積極的に進めていく。

問 観光行政について「多くの人がゆきかう街づくり」のために、特に、観光客の鉄道利用者に対する足の確保についてはどうか。

答 二次交通について、観光協会とも協議しながら検討する。

(市長)



《大熊公平》

行政改革大綱の見直しについて

問 第三次の行革大綱の策定はどうか。

答 この夏から精力的に策定をする。

(市長)

問 5年先を見通していく訳だが、何に重点を置くのか。

答 すべてをデジタル化とはいかないが、アナログも残しながら時流に沿って考えていきたい。

(市長)

問 市のHPを情報発信の機能からポータルサイト化に変えてはいかがか。

答 皆さんの協力を得て、見やすい、使いやすいものに変えていく。

(市長)

問 ICTが災害発生時に強いといわれているが、活用は

どう考えているのか。
答 いずれその時代が来るだろうが今はまだ考えていない。

(市長)

学力向上の取組について

問 ICT授業に取り組みとところが増えてきたが本市はどうかか。

答 平成21年に国の事業で学校のICT授業環境整備に取り組み、市内全ての小中学校へPC、プロジェクター、電子黒板の導入を図っており、他市に比べて進んでいる。今年度もタブレット端末を導入し、実証研究を行う。

(教育長)



タブレット端末を使った教育



《高谷幸男》

難病対策について

問 障がい者福祉の中へ含めた考え方を示すべきと思うがどうか。

答 今後、直接市民と向かい合いながら進めたい。

(以下市長)

問 就労への配慮や支援は進められないか。

答 ハローワークなどと連携を図りながら進めたい。

問 今後の総合支援策はどのように考えられるか。

答 何らかの条例なども考え総合的に考えたい。

企業誘致対策について

問 市街化調整区域における企業誘致の推進について、今後の取組はどうか。



企業誘致によって市内に建設中のモンテール

答 農振除外、農地転用など、法的な規制も数多くあり困難な面もあるが、色々と検討したい。

問 地区計画等の策定推進をどのように考えるか。

答 都市計画法と農振法とはさまであり、時間がかかるものの研究してみたい。

問 企業立地による二千人雇用に伴う児童福祉施設が必要ではないか。

答 保育施設は必要であるが、子ども意向調査なども含め、6月ごろまでには方向性を出していきたい。



《岡崎亨一》

市営住宅について

問 市営住宅の入居率はいかがか。

答 461戸中366戸入居しており、79・4%になっている。

(以下市長)

問 政策空き家の現状はいかがか。

答 井手、天原、真壁、下倉4団地ある。

問 各住宅の募集期限年の想定はいかがか。

答 募集期限年は想定していない。政策空き家以外は募集に応じて入居していただく。

AEDについて

問 現在の設置状況と事業所の設置はどうなっているか。
答 市内100台の設置を確



AED設置マーク

認している。(以下消防長)
問 AEDマップの作成はいかがか。
答 マップの作成はしていきたい。
問 24時間対策はいかがか。
答 コンビニ等とできる限り相談して検討したい。

消防支援法について

問 年額報酬と手当での対交付税単価の市現状はいかがか。

答 対交付税単価は、一般団員の報酬は低いが平成25年度から本部長以上の報酬は高くなっている。分団長以下も順次報酬を上げる計画である。手当では出勤手当以外に訓練手当、会議手当等がある。退職報奨金は平成26年度から各階級一律5万円を上げることとなっている。



山口久子

定住促進対策について

問 周辺地域の人口減少を考えると空き家対策と定住特区指定が必要と考えられるが、いかがか。

答 空き家の状況はそれぞれ違うが、地域の人たちが空き家情報を提供し、空き家のリスタアップも協力していただけるのなら、市も対応がしやすくなる。近々に空き家条例と定住特区指定もする。

(市長)

街路灯について

問 昭和地区内の国道180号に街路灯がない箇所がある。車以外で通行する人たちの安全を考えて、街路灯が必要と考えるがどうか。



街灯が設置されている国道180号(明治橋南付近)

答 昭和地区内の国道180号に街路灯を国土交通省の設置許可をいただき、通学路でもあるから、設置する。そして、夜間照明計画の中で、市内の必要な箇所にも設置する。平成26年度予算で、1500万円組んでいる。一括交付金と合わせて街路灯の必要な箇所もつけていきたい。

(市長)



小西利一

官製談合事件について

問 市の職員が3人も逮捕されるという前代未聞の事件となっている。また、3月3日、贈賄の疑いで関係者が地検に書類送検されるという新しい事件が起きている。

市長は、この官製談合事件が起きた最大の要因は、今現在は何が原因だったと考えているか。

答 市民の信頼を揺るがした事件であり、徹底的にうみを出し切っていく。理由はさまざまあるが、チームとして守りきれなかった。また、個々の職員のモラルが甘くなっていったのが、今考えられる原因と、今考えている。

(市長)

問 今回、逮捕されたAラン

ク業者と、市内業者との市長、副市長との個人的な関係はあったのか、なかったのか。

答 一般の総社市内の業者との関係であって、特別な関係ではない。

(市長)

私も同じである。(副市長)

問 随意契約でも便宜を図っていたと報道されているが、内部調査はしっかりできているのか。

答 現在のところ、はっきりと便宜を図ったかどうかは分からない。

(総務部長)

問 市長は命がけで頑張ることだが具体的に何を頑張るのか。命がけで守るべきは市民であり、職員であり、ではなかったのか。

答 守らなければならぬ。

(以下市長)

問 市の最高責任者として、給与等の削減ではなく、潔く辞職して、市民に信を問うことも責任の取り方の一つではないか。

答 辞職するつもりはない。



萱野哲也

そうじゃ吉備路マラソンについて

問 今回、市長がランナーとして参加しなかったのはなぜか。

答 市職員が不祥事を起こしたために自粛した。

(市長)

問 来年は走るのか。

答 考える。

(市長)

問 良かった点、反省点は何か。

答 招待した仙台高砂中学校の生徒が喜んでくれたことが良かった。スタート地点にランナーが間に合わなかったことが反省点である。

(市長)

問 昨年も交通渋滞でスタートに間に合わないランナーがいたが、改善した上で同じ事が起きたのか。

答 改善はした。

(市民環境部長)

問 現在はグロスタイルを採用しているが、今後、ネットタイムを取り入れる予定はあるか。

答 予算的な事もあるので検討する。

(市長)

問 新たに新総社大橋をコースに取り入れるつもりはあるか。

答 柔軟に対応していく。

(市長)

問 新たなコース設定により実行経費も高くなるがどうするのか。

答 考え直さなくてはならない。

(市長)



国分寺付近を走るランナー

子どもの安心安全対策について



根馬和子

問 誘拐・声掛け等に対する犯罪対策はどうしているか。

答 小中学生では、今年度中に11件、盗撮や付きまといが発生した。保護者へはメール配信している。子ども110番の家の協力や見守り隊に感謝する。

(以下教育長)

問 防犯灯などの設置で通学路を安全なものにしているか。

答 平成26年は1500万円の予算を付けるので充実する。

問 自転車は道路交通法の改正で軽車両として左側通行となった。事故リスクへの対応はどうか。

答 今年度2月まで小中学生で23件の事故がある。4〜6

市職員の健康管理について

問 市職員の健康管理や安全委員会の設置はどうか。

答 規定はある。委員会は年1〜2回開き、検診の状況やメンタル面の状況把握をしている。

(以下市長)

問 メンタルヘルス対策はどのようにしているか。

答 保健師や外部カウンセラーの相談やEQ診断等をして心療内科への紹介もしている。

問 心の健康づくりの啓発講座はどのようにしているか。

答 課長・係長には市町村振興センターでセミナーを受講させ心の健康を保っている。



《深見昌宏》

市長の政治姿勢について

問 市長の本市に対する夢はどのようなものか。

答 最低限、全国に誇れる福祉先駆都市、そして、総社市としてのアイデンティティを持つて次世代につなげたい。最高の形は、人口十万人を越すような街にして財政を豊かにし、困った人に対して徹底的に支える福祉政策をする街作り、そして、総社市民が全国に向かって誇れる街作りをしたい。(市長)

問 その夢をだれかと語ったりしているか。

答 いろいろな方と語ってはいるが、これから若い世代と もっと語りたい。(市長)

教育行政について

問 教育長の本市の教育に対する夢もしくは目標はどのようなものか。

答 この混沌とした世の中、そして、多くの困難を乗り越えることのできる子どもたちの育成をしていかなければならない。学力も大切だが、何より人間としての素養を大切にしたい育成をしていかなければならない。(教育長)

問 幼少期の子どもたちの教育をどのように考えるか。

答 だれもが行きたくなる学校づくりを今やっているが、これを幼稚園に導入し、前頭業の発達を促すような教育をしていきたい。(教育長)



幼稚園の子どもたち



《村木理英》

吉備線LRTについて

問 基本的な考え方はどうか。

答 避けて通れない最重要課題である認識している。やっつけていくべきと考える。(市長)

問 本市交通戦略基本構想はどうか。

答 沿線住民や、各組織、議会の意見を聞き、本市としてのコンセンサスを早く持ちたい。(市長)

問 岡山市との調整はどうか。

答 大森市長に会議を申し込み、岡山市の意向を聞く機会を早急に設けたい。運行形態や費用負担については、岡山市、JRとの折衝も必要になる。(市長)

問 JRとの調整はどうか。

答 岡山市と調整をした後、考えたい。(市長)



東総社駅北側ロータリー周辺の現況



LRTのイメージ図



《小川進一》

子育てについて

問 子育て王国とは、具体的に何をどうするのか。

答 まち全体が子育てにやさしい、ソフト面の充実である。(市長)

問 日本一を目指すとは。

答 まずは県下一を目指す。(市長)

問 現在、児童会館のような施設がないが、どのようなものがあるか。

答 広場型・センター型で運営しているが、周知されていない。(市長)

問 就学前児童の窓口の一本化は可能か。

答 平成27年度4月から実施する。(市長)

東総社駅周辺整備について

問 駅西の踏切の拡張は可能か。

答 ハードルが高いが、JRに相談する。(市長)

問 駅北の改札口の新設は可能か。

答 まずは、乗降客の増加が必要である。(市長)

問 180号バイパスと東総社泉線の同時開通は可能か。

答 7億円の試算がある。予算的に厳しい。バイパスとの交差点については国交省と交渉する。(市長)



東総社駅



《三宅啓介》

子育て支援施策について

問 待機児童数の状況は。

答 平成26年度も引き続きゼロである。(市長)

問 今後の保育ニーズを、どのように予測しているか。

答 市内保育所の総定員1305名に対し、平成27年度のニーズで1758名、更に社会増減を考慮すると保育ニーズの数も十分変わる。(保健福祉部長)

問 保育園の整備だけでなく、幼稚園の預かり保育の内容の更なる充実が必要と考えるがどうか。

答 十分検討して行きたい。長期休暇の利用ではエアコンを設置するなど施設の問題が

あることと、職員の確保など必要である。保育園との調整も必要である。(教育長)

公衆無線LANスポット(Wi-Fiスポット)の設置について

問 公衆無線LANスポットは市内にあるか。

答 市内では岡山県立大学にのみある。(市長)

問 岡山県が取り組む「岡山モバイルスポット」を公的施設に導入できないか。

答 インターネットの功罪を考えたが設置に向けて検討する。(市長)



公衆無線LANスポット(おかやまモバイルスポット)の表示がある、岡山県立大学の図書館

総務文教委員会

当委員会が審査した議案11件は原案どおり可決又は同意しました。

◎総社市長及び副市長の給料月額の特例に関する条例の制定について(議案第34号)

入札談合等関与行為の排除及び防止並びに職員による入札等の公正を害すべき行為の処罰に関する法律違反により職員3人が起訴されていることを厳粛に受け止め、管理監督者としての責を果たすため市長及び副市長の給料月額の特例を定めようとするものです。市長は平成26年4月から9月まで、また、副市長は平成26年4月から7月まで、条例で定める給料月額からその10分の2に相当する額を減額するものです。

問 他市の例を参考にしたとのことだが、どのような事例を参考にしたのか。

答 全国の様々な例を参考に

した。10分の1を3か月という事例や、官製談合で3か月収賄で3か月の計6か月という事例などがあつた。

◎以上のような質疑・答弁がなされた後、赤澤委員から「なぜ今の時期なのか。もっと早くすべきでなかったか。ここまで延ばしたのなら、このまま継続して、本市職員の関係した事件の結果が出た後に改めて審査すべきである」との理由から反対討論が、また、笠原委員から「事件の結論を待っていたらいつになるかわからない。4月には人事異動もあり心機一転。今回はこれを認めるべきだと思う」との理由から賛成討論があり、起立採決の結果、賛成多数で原案を可決すべきであると決定しました。

◎同意第1号から同意第5号

「固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて」

本市固定資産評価審査委員

会委員5名の任期が本年5月11日で満了することに伴い、引き続き、荒木千代信氏、赤木洋児氏、下山仁司氏、小野弘子氏、三原達朗氏を選任するものです。任期は平成29年5月11日までです。

◎同意第6号「教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて」

本市の教育委員の米谷正造氏の任期が本年5月11日で満了することに伴い、後任の教育委員に、引き続き米谷氏を選任しようとするものです。任期は平成30年5月11日までです。

厚生委員会

当委員会が審査した案件は、議案11件であり、全て原案どおり可決しました。請願1件は不採択となりました。

◎財産の取得について(議案第13号)

下倉地内に計画している一

成26年度からは、財産調査員として嘱託員1名を雇用する予定であり、滞納処分へ力を入れていきたい。

◎平成25年度請願第7号「子どもの医療費無料化の拡大を求める請願」

「対象年齢の引上げについては財政的にかなり厳しい面があり、小学校6年生まで医療費無料、中学校3年生まで入院費無料という現在の制度を堅持していくべきと考えられる」との理由から、不採択と決定しました。

産業水道委員会

本委員会で審査した案件は、議案10、請願1件であり、原案可決、請願採択しました。

◎平成25年度総社市公共下水道事業費特別会計補正予算(第1号)(議案第5号)

問 井尻野中原雨水幹線の浸水対策事業が頓挫しているが、あの地区は毎年のように床下

浸水している。今後の計画はどうなっているのか。

答 今後の予算状況を見ながら、下流から順に工事をしていく計画である。

◎平成25年度総社市国民宿舎事業費特別会計補正予算(第3号)(議案第6号)

問 営業収入が約二千万円減収となっている要因は何か。

答 出雲大社や伊勢神宮の遷宮があり、そちらへ観光客が流れたため、当初の見込みより宿泊客数が二千人程度、下回るからである。

◎請願第1号「楨谷畑ケ野地区上水道敷設に関する請願書」

請願者を代表して、神原俊和氏を参考人として招致しました。

まず、参考人に趣旨説明をしていただいた後、参考人への質疑を行いました。

問 飲料水やお風呂などはどのようにしているのか。

答 飲料水は購入し、風呂に

ついでには濁った水を我慢して使用しているのが現状である。

問 来年度予算で畑ケ野地区に小規模区域給水施設設置事業が予定されているが、この事業と、同時並行で上水道の事業をしてほしいという請願趣旨か、それとも小規模給水を使えるところまで使い、その後、上水道に切り替えるという趣旨か。

答 小規模給水については仮と考えている。

◎採決の結果、全員一致で採択しました。



請願者を委員会に招き審議した産業水道委員会

般廃棄物最終処分場の用地を取得するにあたり、取得予定価格及び面積が総社市財産条例の規定に該当することから、市議会の議決を得ようとするものです。

◎総社市一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧手続等に関する条例の制定について(議案第14号)

一般廃棄物の最終処分場を下倉地内に設置するにあたり生活環境影響調査の結果を縦覧に供する必要があるため、必要な事項を定めようとするものです。

◎平成26年度総社市国民健康保険特別会計予算(議案第22号)

問 国民健康保険税の滞納者への取組はどのようになされているのか。

答 早期の滞納者を増やさないうように、納税係で『ミニ・コールセンター事業』として、電話で催告を行っている。平

建設消防委員会

本委員会で審査した案件は、議案10件であり、全て、原案どおり可決しました。

◎総社市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定(議案第18号)

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律による消防組織法の改正に伴い、消防長及び消防署長の資格について、必要な事項を条例で定めるものです。

問 法令改正によって、これまで政令で定めていた任命資格を各市町村の条例で定めるものであって、資格としては、従前と変わりはないのか。

答 従前の政令では、国、県、市の職員及び消防団長において任命資格の規定があつたが、政令改正後は、国及び県の職員に関する規定がなくなったのが大きな変更点である。



特別委員会を代表し提言を行う大熊委員長

悪しき慣例を断て

官製談合を二度と起こさないための8つの提言



官製談合再発防止調査特別委員会はその調査を小委員会(8名)に付託した

再発防止に向けた特別委員会の設置

官製談合防止法違反等により本市職員3名が逮捕起訴され、本市行政に対する信頼が極めて損なわれる事態となっています。このことを受け市議会では、議会請求の1月の臨時会において「官製談合再発防止調査特別委員会」(委員22名)を設置し、再発防止策について調査、協議を重ね、この特別委員会報告書を2月定例議会最終日に議長へ提出しました。報告内容の議会からの提言部分は次のとおりです。

①官製談合事件に対する原因究明調査の実施

事件の原因、再発防止策について、組織的な調査、原因究明がなされていないことから、他市の事例を参考に、外部有識者を含む調査委員会を立ち上げて、今回の事件に対する調査を実施し、再発防止に向けた対応策を検討すべき

のは改正されたい。

⑥入札結果の事後的な監視の強化

落札金額が最低制限価格と同額であった入札が、3年間で41件もあったにもかかわらず、「あり得ること」として、結果的に設計価格の漏洩等に気付かなかつた。今後は、入札結果について、監視の強化を図り、不正の早期発見に努めるべきである。

⑦不当要求対策、コンプライアンスマニュアルの作成

今回の事件については、それぞれの職員や組織において、コンプライアンスの欠如があり、不当要求への対応に問題があった。今回の事件を教訓として、不当要求の対応や何がコンプライアンス違反になるか具体的な対応を示したマニュアルを作成し、職員に徹底を図るべきである。

⑧組織としての談合防止意思の明確化

各課の上司となる幹部・管

である。

②入札を監視する第三者委員会の設置

入札制度の調査では、指名審査委員会が入札関係の規定を遵守していなかった事実が明らかとなつていていることから、公正な入札を実施するため、外部委員による第三者委員会(入札監視委員会(仮称))を設置し、入札の透明性、公平性を確保すべきである。

③随意契約の厳格な運用

随意契約については、工事請負の場合、本来、予定価格が130万円以下で適用されるべきもの、あるいは、130万円を超える場合でも、緊急の必要があるものについてなどは可能となつている。この随意契約に当たっては、正当な理由とやむを得ない場合に限りなど適用を厳格化すべきであり、仮に随意契約となつた場合は、その理由を明示して公表し、競争性、透明性や公平性の確保から、他市

同様に電子入札制度に移行すること等を検討すべきである。

④指名停止の罰則強化

指名停止は、不適格業者の排除のために必要な規定である。他市と比較すると罰則の期間が短く、より罰則の強化を図るべきである。また、威圧的な言動、工事成績が粗雑であるなどの罰則適用についても、厳格な運用を望む。

⑤建設工事請負業者選定要件の厳格化等及び選定の審査の徹底

今回の事件では、事件に関わつた土木業者が、結果的に建設業の資格を取り消されたが、現在でも、資格審査の段階で必要書類が揃えば建設工事の参加資格を得られる状況に変わりない。

今後は、選定基準の厳格化、明確化及び審査の徹底を図つて、透明性と公平性の保たれた制度とされたい。併せて、入札関係の他の規定も近隣市の現況に照らして、必要なもの

理職が、官製談合等は絶対に許容しないという意思を、所属の職員に対し明確に示すことが重要である。官製談合防止法の遵守を明記したコンプライアンスマニュアルの整備は、そうした組織としての意思を具現化する意味で重要である。

その他2点について、意見として申し入れています。

①業者と接する場合は、複数で対応し、公私の区分をはっきりとさせるため、業務上使用する携帯電話を配備して、業者との連絡は個人の電話は使用しないなどの配慮をされたい。

②建設関係職員の人事異動については、業者との癒着が発生しないよう配慮をされたい。また、建設関係課については、市長の目が届くような場所への移動、あるいは、仕組みを検討されたい。

市議会の対応について

市議会は、行政に対する監視の機能を有している。市民からは、議会は何をやつていたんだとの批判も多数あった。今回の事件に対して、本委員会を設置して再発防止のため調査をし、入札制度や不当要求等に対する対応について問題点を指摘し、提言もしたが、まだまだ調査が完了したとは考えていない。市民の信頼回復には長い時間が必要と思われるが、このたび提言したことが実行されているか、行政に対する監視をいっそう強化して、議会としての機能と責任を果たしたいと考えている。

本委員会としては、行政当局の対応策が効果を上げていくことを確認するまで、調査、協議を継続していきたいと考えている。

官製談合再発防止調査特別委員会報告書全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

皆さんの声を議会へ！

第5回議会報告会は5月17日(土) 18日(日)

議員が議会活動を報告し

ご意見をお伺いします

第5回となる議会報告会を
左下表のとおり開催します。
奮ってご出席ください。

議会報告会は、市内各地区
公民館分館を巡回して、市議
会基本条例に基づき年2回、
予算、決算審査の状況報告や、
テーマを定めて、市民の皆さ
んのご意見を伺っています。



山手公民館での議会報告会（第4回）

開催日時・場所

月日	時間	場 所
5月 17日 (土)	10:00～ 11:30	中央公民館総社分館 昭和公民館
	14:30～ 16:00	東公民館三須分館 西公民館山田分館
5月 18日 (日)	10:00～ 11:30	中央公民館浅尾分館
	14:30～ 16:00	東公民館阿曾分館 西公民館神在分館

ご意見は議会として持ち帰り
協議し、市長に届けたり委員
会が調査したりしています。
今回は官製談合再発防止調
査特別委員会の調査内容の報
告や、平成26年度予算の状況
などの報告を予定しています。
事前の申込みは不要。お近
くの会場へお越しください。

問い合わせ 議会事務局

(☎92-8332)

6月定例市議会の予定

日時	内容
6月 2日(月)	開会
6月 6日(金)	一般質問
6月 9日(月)	一般質問
6月10日(火)	一般質問・質疑
6月11日(水)	委員会
6月12日(木)	委員会
6月13日(金)	委員会
6月16日(月)	委員会
6月20日(金)	閉会

問い合わせ 議会事務局 TEL92-8332

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、
議長の交際費の執行状況を公表します。
各月の執行状況については、議会事務局及び市議会のホームページ
(<http://www.gikai.city.soja.okayama.jp/>) でご覧になれます。

[平成 26 年 1～3 月分]

支出区分	支払日	支出金額	支出先等
お 供	1/10	10,000	農業委員会委員の香典
	2/28	10,000	美作市長の香典
土産等	-	-	-
議長賞	-	-	-
合 計	-	20,000	-
4月からの累計	-	134,360	-

編集後記

「ガタ、ガタ」久しぶりの
大きな地震に深夜飛び起きた
方が多かったのではないだろ
うか？総社市では新年度事業
に消防救急無線のデジタル
化、小中学校耐震化などの防
災事業を予算化した。

激震で言えば、市職員が3
人も逮捕された官製談合事
件。特別委員会でもとめた再
発防止策を2月議会の最終日
に提言したところだ。

もちろん、議会の責任も重
く受け止め、行政チェック機
能を更に果たしていかなけれ
ばならない。(三宅啓介)

◆編集委員会のメンバーは
次のとおりです。

委員長 村木 理英
副委員長 三宅 啓介
委員 萱野 哲也
委員 岡崎 亨一
委員 小川 進一

訂正

前号(V O I ・ 38)の15ページ「議
会報告会」の記事で、「清音公民館」を
「清音分館」と誤って記載しておりま
した。訂正し、お詫び申し上げます。